

揺れる視点：議論を捉えた映画 を使った批判的授業の展開

野田真理(オハイオ州立大学)
寺田恵理(早稲田大学)

言語教育での批判的思考の重要性

批判的思考力

- 「スキル・知識」と「態度」からなる(Ennis 1987; 梶見 2011)
 - 態度:
 - (1)明確な主張や理由を求めること
 - (2)信頼できる情報源を利用すること
 - (3)状況全体を考慮する、もとの重要な問題からはずれないようにする
 - (4)複数の選択肢を採す
 - (5)開かれた心を持つ
 - (6)証拠や理由に立脚した立場をとる(Ennis 1987)
- 「見かけに惑わされず(=批判的態度)、**多面的**にとらえて(=創造的思考)、本質を見抜くこと(=論理的・合理的思考)」(道田 2001)

言語学習環境が提供できる機会

- 様々な**文化**、**価値観**を持つ人と出会う機会
- 異なる考えを排除しようとするのではなく、自身の価値観を**振り返り**、様々な視点から他者の意見を捉え、異なる考えの裏にある理論を理解しようとする
- 自分の考えを表現するための、分析力、批判の方法を**体験**する

研究の目的

映画を題材にしたディスカッションを続ける中で、

1. 映画の部分部分で浮かび上がる問題を学生たちはどんな視点から考えるか
2. ディスカッションを通して、学生たちの視点はどのように変化するのか

以上のことを調査する。

方法

- 参加者: 日本語上級グループセッションの学生6名
- 期間: 2018年1月から4月の15週間(週1回80分)
- 活動: ディスカッション場面を提供する映画を視聴し、関連ディスカッションを行う
- データ: (1)学生が行なったディスカッション7回(ビデオ撮影+文字化)
(2)映画に関する感想文2回分
- 分析方法: 視点を示す言葉をラベリングして15週間の間の変化を検証する

日本語クラス概要

1	日本語プログラム	レベル5 Group	秋学期	ディスカッション運営: DLの役割、DLの振り返りセッション その他の活動	ディスカッション活動: 視聴『ブタがいた教室』(2008) 18チャプター X 3~10分	
2			春学期	『ブタがいた教室』(2008)	データ(1) ディスカッション7回 (ビデオ撮影+文字化): (2)感想文2回	
3			バフォーマンスカルチャーアプローチ(PCA, Walker & Noda 2000)			
4			ディスカッションの視聴、実践 DLの振り返り その他の活動			
5						

レベル5 春学期
2018年1~4月
80分 X 15週間
学生数=6

ディスカッション活動の目標

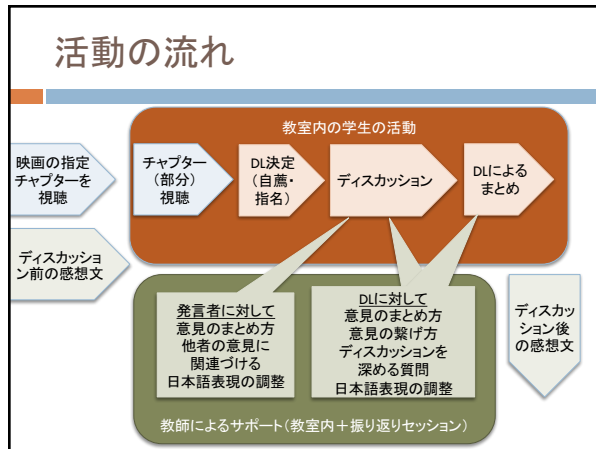
日本語	批判的思考
<ul style="list-style-type: none"> □ まとめる(～ということ) <ul style="list-style-type: none"> ■ ディスカッションリーダー(DL)として要約 ■ 視聴覚インプットを文にする ■ 反論・補正の準備として □ 話題を振る・変える・発展させる □ 意見を述べる 	<ul style="list-style-type: none"> □ 複数の視点・価値観を認知する □ 異なる視点や価値観がどこから来るのか、考える □ 一つの事象を複数の視点から考える □ 自身の意見を客観的に振り返る

『ブタがいた教室』(2008)

- 大阪の小学校で1990年代前半に行われた「豚を育てて食べる」という実践授業を再現して追った映画
- 18チャプター(各3~10分)
- この映画を選んだ理由
 - 様々な形態のディスカッションが起こる(表現)
 - 「食べる」、「命」という日常的、かつ普遍的な題材を扱っている(材料)
 - 異なる立場の人の意見が描写されている(背景)
 - 議論の部分に台本のない「リアリティショー」的要素(Wikipedia「豚がいた教室」)
 - 語彙、構文レベルが妥当

ディスカッションのトピックと活動

週	視聴	ディスカッション	感想文
4	Ch2: 小屋作り Ch3: 転校生	小屋作りについての子供たちへのアドバイス 「豚を育てて食べる」という実践授業をどう考えるか	この実践授業について
6	Ch7: Pちゃんとの時間 Ch8: 食べる? 食べない? 肉って何?	食べるとは	
9	Ch11: 13人vs.13人 Pちゃんを下級生に託すか	子供たちの話し合い①(Pちゃんをどうするか)の感想	
12	Ch12: Pちゃんを卒業させる? 食肉センターに送るべきか	子供たちの話し合い②(Pちゃんをどうするか)の感想	
14	Ch13: Pちゃんが消えた? Ch14: 最後の1票 Ch15: 星先生の1票	ここまでを見て(2テーク)	Ch15までの感想
15	Ch16: 3年生へ報告・謝罪 Ch17: Pちゃんと別れ	卒業式、見送りまでを見て(2テーク)	



視点の流れ(全体)1

週	ディスカッション	感想文	学生の視点			
			実践授業について	題材について	自身の感情	作品について
4	実践授業	別の方法がいい何を食べるか予想できない ◎ 食べ物として育てることに価値がある現実的でない結果に期待	子供達は「ベジタリアンになるだろう」、「トラウマになる」「態度が変わる」			
6	食べるとは		動物と植物は違う残酷な実態を知るべき 野菜も動物もある命を受けついでいくということ 申し訳ない気持ちもあるが、必要なこと			
9	話し合い①	命の大切さについて意見が出ている命の大切さに向き合っている最終的に食べることが必要課程が大切、教育的意味がある		人生の中には苦しいことがあるが、自分の意見を出すことは重要		

視点の流れ(全体)2

週	ディスカッション	感想文	学生の視点			
			実践授業について	題材について	自身の感情	作品について
12	話し合い②	残酷なことをさせている		自分が選んだことの結果はわからないが、過去には戻れない生きるとは学ぶこと		
14	ここまでを見て	命に向き合う学びになった教師はきちんとした説明をしておらず、学びの機会を失っている教師がもっと責任ある行動すべき		悲しい話 トラウマを除くことはできないが、どう克服するかは学べる 昔は(子供達のように)何も傷つけずに生けていけると信じていた 大人になると嫌なこと 結末に納得できない 結末に驚いた	目的を考えればいい映画 考えさせる映画 命の意味について考えた 子供達が理性的に議論できているのがすごい 結末に納得できない 結末に驚いた	
15	ここまでを見て	子供達を考えさせた大人になった食肉センターに送ることが先生の責任		自分が6年生で経験していたら良かった	予想通りの展開 子供たちがこの実践でどう変わったか描いて欲しかった この結末が私たちを考えさせる	

トムの視点(Wk4: 実践について)

肉を食べるために、ひどい、冷酷な方法でたくさんの動物が殺されていますけど、別の方法でこの事実を子供に伝えられると思います。(ディスカッション)実践は参加する小学生に悪い影響を与えると考えている。別の教え方で命の大切さを教えられるのではないかと。 (感想文)

トラウマを受ける学生もいるかもしれません。(ディスカッション)
実践の開始から締めくくりまでPちゃんを愛しいペットに思う生徒が多いのではないかと。(感想文)

トム視点 (Wk6: 食べるとは)

動物だったら、動物を食べることだったら、私も**ガビさん**の意見に賛成しますが、植物、植物だったらあまり気にしません。あんまり、別に感情が感じられません。感じません。すいません。(ディスカッション)

トム視点 (Wk9: 話し合い1)*

*この時点では、実践について、6人中トムを含む3名が結果重視派、3名が過程重視派

多角的な視点
まあ今までは実践は成功だと思いますけど、なぜかという、みんなはPちゃんのことを深く考えて、Pちゃんの命の大切さがわかるとは思いますけど、あの、結局Pちゃんを殺して食べないとその実践があまり良くないと思います。そうしないと、Pちゃんの命の大切さが徹底的に理解できないではないかと思えます。(ディスカッション)

自己の前の意見を精査

トム視点 (Wk12: 話し合い2)

視点のさらなる広がり
あの、Pちゃんのことだけじゃなくて、他の豚や肉、牛について、その動物の命をPちゃんの命と同じように大事にしているかわからないので、その実践はあんまりよくないんじゃないかと思いました。(ディスカッション)

時空を超えた視点
あの、実践をした後で、これからどうするか気がなりません。または、実践の前と同じような生活をすることもありません。
...これから、あのその実践があって、その6年生達が前の生活と違って何をやるかわかりませんが、大体前の生活と大体同じことをしたら、実践はあまり何も達成しなかったんじゃないかと思えます。(ディスカッション)

トム視点 (Wk14: 決定まで見て)*

映画について
映画のテーマが良かったと思う。小学生は実践で初めて命の大切さに関心し、大人が行われるような議論をした。(感想文)

やっぱり、結局星先生が決めたと思いました。...「豚がいた教室」という映画で、という映画は、普通の物語と大きく違うと思います。えー、まあ、日本語の動画、映画だけでなく、アメリカにも起承転結のようなものがあると思うんですけど、まあ、えー、この映画では「転」があまりなくて、最初から最後まで予想しやすかったんじゃないかと思えます。(ディスカッション)

先生について
それに、いつもあの今まで子供たちは、6年生たちはどういうふうを考えているかはっきりわかっていまして、あの今までは、あれ、星先生は今、前のことを考え直したかと思えます。(ディスカッション)

トム視点 (Wk15: 最後まで見て)

複数の視点:
子供
視聴者
やっぱり悲しいチャプターばかりありましたが、結局豚を殺すからそうすけど、バメラさんと同じようにその実践から、その実践に考えさせられていいと思います。子供でも、視聴者でも、いろいろなことを考えましたかもしれません。
...
[3年生の] クラスがPちゃんの世話をしたら迷惑か危険かもしれないと思って、そういう星先生が決めたかもしれないね。...それは私の仮説です。(ディスカッション)

仮説

多面的な捉え方を可能にしたもの

- ① 題材(日常=食べる & 普遍=命)
- ② 映画の多角的構成と膨らみ
- ③ 活動の進め方(1~3チャプターに区切ってディスカッション)
- ④ DLの運営力(振り返りセッション)
- ⑤ 参加者のスキル、態度

ガビによるDL(Wk4:実践について)1

ガビ: 皆さんも聞いたと思いますが、隣の小学校で小学生が豚を飼って1年間育てて最後に食べるという実践があります。私たち教育学を勉強している大学生として、皆さんのご意見を聞きたいのですが、皆さんどう思いますか。

[...]

ガビ: そうですか。つまり、小学生が最後のところまで考えずに、今Pちゃんが可愛いということだけを考えたこの実践に賛成だということでしょうか。

[...]

ガビ: 最後にみんなPちゃんを食べなくて、ベジタリアンになる可能性も高いと思う、ことでしょうか。

パメラ: はい、そうですね。

議題の提示

発言のまとめ

発言のまとめ

ガビによるDL(Wk4:実践について)2

ガビ: はい。他のご意見はどうでしょうか。

[...]

ガビ: そうですか。パメラさんがさっき言った通りに、ベジタリアンになる可能性もありますが、ちょっと子供たちが最後に豚が殺されてトラウマになる可能性もあるということでしょうか。

[...]

ガビ: つまり、この命の大切さや動物がこのように殺されていることを今Pちゃんの実践じゃなくて、他の方法で教えたほうがいいのかということでしょうか。

トム: はい。

発言の促し

発言のまとめ

発言のまとめ

* 議題の提示の後は発言のまとめに終始している

ガビによるDL(Wk14+振り返りセッション)に続くWk15:最後まで見て)1

ガビ: みなさん、この映画についてどう思いましたか。

[...]

ガビ: そうですねえ。いろいろ命の大切さや他のことについて考えるようになったので、子供達にもいい実践になりましたよね。

議題の提示: 全体の感想

発言のまとめ+承認

ガビによるDL(Wk15:最後まで見て)2

ガビ: 他の人はどうですか。悲しいと思いましたが、この映画、全体的に、はい、トムさん。

トム: ...結局豚を殺すからそうなんですけど、...その実践に考えさせられていいと思います。子供でも視聴者でも...

ガビ: そうですねえ。子供達がいろいろなことについて考えるようになりましたけど、子供達にとってこの実践から学んだことは何だと思えますか。

発言の促し+意見の主要部分の再提示

発言のまとめ+掘り下げ

ガビによるDL(Wk15:最後まで見て)3

ガビ: で、星先生なんですけど、...皆さんは星先生が食肉センターに送るという決定をした理由は何だと思えますか。自分にとっては、何だと思えますかその理由。星先生は直接言っていないんですけど、何だと思えますか。

[...]

ガビ: で、最後まで、皆さんが6年生の学生になったとしたら、トラウマなどは受けると思いますか。どんな気持ちになると思えますか、もしこの学生になったとしたら。

[...]

仮説的見解を求める

談話位置の標識
異なる仮説的視点

ガビによるDL(Wk15:最後まで見て)4

ガビ: わかりました。そうですね、悲しいけど、子供達もきつと何か学べると思いますので。そうですね、命の大切さなどは、そういう感じはしますか。この実践の後は、皆さんがまた6年生だったら、ああ、やっぱり、人生が辛いんですねえのような感じがしますか。

[...]

サム: そうですねえ。人生が辛いこそ、友達、家族などなど、相手まで大切にしようと思うことになると思います。

ガビ: はい、わかりました。じゃあ、みんな悲しくなりますが、少しでも何か学べるということでしょうか。

全員: はい。

仮説的視点+時空の変化

全体のまとめ(映画の主題)

ガビのDLの構成

Wk 4	Wk 15
1) 議題の提示(実践について)	1) 議題の提示(全体の感想)
2) 発言のまとめ	2) 発言のまとめ+承認
3) 発言のまとめ	3) 意見を繋げ、他の発言を促す
4) 発言の促し	4) 掘り下げ 「子供達が学んだことはなんだと思うか」
5) 発言のまとめ	5) 仮説的視点 「6年生の学生になったとしたら、命の大切な感じる？」
	6) 時空の変化 「実践の後は、やっぱり、人生がは辛いものだを感じる？」
	7) 全体のまとめ(映画の主題) 「悲しくなりますが...学べることがある」

まとめ

1. 上級日本語学習者の視点は、ディスカッションを重ねるにつれ、揺れている
 - a. 多角的な視点を考慮
 - b. 内省的視点の追加
2. 視点は次第に複雑になっていく
 - a. 15~30週間の積み重ね
 - b. 学生同士のラポールによる自己開示(泉水 2013)
3. 視点の膨らみはディスカッションリーダーの質問を投影している
4. 質問力は、批判的思考の要素である(道田 2011:193)

今後の課題

1. DLを含む学生の視点の複雑化にどの要素がどのように貢献したのか
 - a. 映画内容
 - b. DLの振り返りセッションを通じた質問力強化の指導
 - c. ディスカッションの長期にわたる積み重ね
2. DLを含む学生の視点の複雑化が、日本語クラスを超えて発揮できるか
3. ディスカッション活動について行けない学生の場合、視点の複雑化が見られるか

ありがとうございました。

Noda.1@osu.edu
Terada.6@osu.edu

文献

楠見孝 (2011) 「批判的思考とは：市民リテラシーとジェネリックスキルの獲得」楠見孝・子安増生・道田泰司(編)『批判的思考力を育む：学力と社会人基礎力の基盤形成』有斐閣, pp. 2-24.

黒田恭史 (2003) 「豚のPちゃんと32人の小学生—命の授業900日—」ミネルヴァ書房

泉水康子 (2013) 「支持的教室風土を目指して—ラポール構築のための教室環境整備—」『早稲田日本語研究実践研究』1, 65-73.

道田泰司 (2001) 「批判的思考の諸概念：人はそれをなんだと考えているか?」『琉球大学教育学部紀要』59, 109-127.

道田泰司 (2011) 「授業においてさまざまな質問経験をすることが質問度と質問力に及ぼす効果」『教育心理学研究』59, 193-205.

Ennis, R. H. (1987). A taxonomy of critical thinking dispositions and abilities. In J. B. Baron & R. S. Sternberg (Eds.), *Teaching thinking skills: Theory and practice*. New York: W. H. Freeman.

Walker, Galal & Mari Noda (2000). "Remembering the future: Compiling knowledge of another culture" in Diane Birckbichler and Robert M. Terry (Eds.), *Reflecting on the Past to Shape the Future*, 187-212. Lincolnwood: National Textbook Company.

中国語対訳版：(2010). in Galal Walker (Ed.), *The Pedagogy of Performing Another Culture*. Pathways Series, no. 12, 33-50. Columbus, Foreign Language Publications.

Wikipedia 「豚がいた教室」2018年6月22日閲覧)